

種類	主な意見	対応状況
基本理念について【中間素案:14p～15p】		
本体	前回の委員会で、現構想の理念を少し長いと言ったが、他の政令市の理念を見てみたり、説明文を読み解くと、今の理念にいろんな意味が入っており、原案のままでよいと思う。	基本理念については、第3回でお示した「人がまちをつくり、まちが人を育む学びの循環のもと、互いに認め合い、自分らしく学び続ける人を育てます」とします。
	理念と循環構造はわかりやすい。	
	少し長いのかな、と思っていたが、人とまちという相互関係をしっかりとらえていることを思うと、「人がまちをつくり～」は外さない方がよい。	
説明文	■「人がまちをつくり、まちが人を育む学びの循環」の継承 これまでも多様な主体が協働してきたことがわかるよう、「地域社会、学校、家庭が協働して」といった趣旨の文をいれてはどうか。	ご指摘いただいた趣旨について、説明文に追記しました。
	■育てたい「人」 「VUCA」時代に立ち向かう力として、課題を解決する力のほかに、課題を見つける力も必要。課題を見出す力、自ら問いを立てる、課題発見力について記載があってもいい。	「課題を見出し、解決する力」という表現に修正しました。
	■育てたい「人」 「自分を受け入れ、自分を大切にする人」がわかりにくい。例えば、「自分で考え」とか、「自分の成長を信じる」とか。前向きな感じが出た方が、学習意欲や学び続ける姿勢につながるのではないか。	「自分の成長を信じ、自分を大切にする人」に修正するとともに、他の育てたい人との関係に加え、このこと自体が「新たな取組にチャレンジする意欲や可能性を広げる力」や「自己理解を深め、自己と他者の違いを理解する力」を育むものという説明を追加しました。
	■本市教育の使命と基本理念 「個人や社会のウェルビーイング」には教師のウェルビーイングも含まれること、それは、こどものウェルビーイングと一体的であり、引き続き、教員育成指標の下で体系化されている各研修の実施により、資質能力向上を図っていくこと、学び続ける教員を支援する、といったようなことを追記できないか。	ご指摘いただいた趣旨について、基本方針5の説明文のほか、施策5-1・5-2の取組状況等への記載いたしました。
図	<育てたい「人」>の説明文中にある「探究する」「未来の社会を創り出す」は大事な要素と思うので、図中の表現にも追加できないか。	ご指摘のとおり、図を修正しました。
	図に出ている文言一つ一つに重みがあるので、説明文と一致するように点検してほしい。	修正後の説明文と整合するよう、図の表記を見直しました。
基本方針の並び順について【中間素案:18p】		
	トレンドを意識した順番だと思うと、学校以外も含めた学びの機会の保障が今のトレンドであり、世相を反映した並びだと思う。	基本方針の並び順については、第3回でお示したとおりとし、基本方針1のタイトルをご指摘を踏まえ修正いたします。
	校長としては、いじめ対策・不登校児童生徒等支援がトップに来るのは自然だと思う。方針1に使うエネルギーが多くて、本当は方針2・3にもっとエネルギーを費やしたいが、なかなかやりたいことができていない。	
	最初は、大きくて期待のあるものから入った方がよいので、「方針2⇒3⇒1」の順番がよいと思うが、方針1を強調したいという思いがあるとか、こどもたちにとって安心して学べる場という話であれば、方針1が最初でもよいと思う。	
	方針2が全体を網羅していて、1番上なのではないか。いじめ対策・不登校児童生徒等支援が最初というのは違和感がある。	

種類	主な意見	対応状況
基本方針のタイトルについて【中間素案:18p】		
基本方針1	方針1は主語が行政(=学校教育)になっており、市民や子どもたちがお客さんになっている。タイトルでも自分事と思えるようにならないか。	誰もが自分事として、前向きに施策に取り組めるよう、タイトルを「一人ひとりが安心して学べる学校教育」に修正しました。 また、具体の取組については、基本方針の説明文や各施策にて表現するようにしました。
	「安心・安全」みたいな、だれもが対象となる感じを出してはどうか。	
	方針は包括的な仕立てで、わかりやすい表現であることが大切であり、仕立ては揃えた方がよい。ハイフンの中身(具体の取組)は説明文や施策で表現できればよいのではないか。	
基本方針5	方針5のタイトルの「体制」について、家庭や教師が体制の一部という表現になっているのが気になる。	タイトルを「学びを支える持続可能な基盤づくり」に修正しました。
基本方針の説明文について【中間素案:19p】		
基本方針1	第2段落の第1文から始まるよう、文章の順番をかえてほしい。	ご指摘を踏まえ、文章の並びを修正しました。
	不登校児童生徒等支援の「等」について、登校に悩みを抱える児童生徒も含まれるので、「不登校や登校に悩みを抱える児童生徒」という形ではどうか。	説明文や施策名等での表現を「登校に不安や悩みを抱える児童生徒」に修正しました。
	「不登校の増加が見込まれます」だと、人数に対する施策ととらえられる。数のみにとらわれず、社会的自立につなげるのが大切であり、個々に応じた学びの充実が大事。	個々の状況に応じた学びの充実につながるよう、表現を修正しました。
基本方針2	「答えを探究する」は正解を見つける印象を与える。「答えを」は外していいのではないか。	ご指摘のとおり、修正しました。
基本方針3	多様性について、多文化共生に特化しているが、世代間とかも多様性。学校の中での他学年交流など、縦の多様性という視点があってもいいと思う。	多文化共生以外の多様性についても触れるよう、表現を修正しました。
基本方針5	学ぶ意欲をこどもに担保するのは教師の本丸。学び続ける教師も大切。働き方改革だけではなく、教師の成長も目立つように扱ってほしい。	説明文にて、教師をはじめとする教育を支える人々が自らの能力を伸ばすための支援について記載をしました。
各主体の役割について【中間素案:20p】		
	家庭の役割とかあり方がわからない。教育における家庭の役割は大きいと思う。学校が終わったら家庭に帰るのであって、そういう記述があってもいいと思う。	各主体の役割を確認しつつ各種施策の説明につながるよう、「教育施策を進めるための各主体の役割(第4章-2)」を「各種施策(第4章-4)」の前に配置しました。

種類	主な意見	対応状況
各種施策について【中間素案:22p～47p】		
基本方針1	いじめ未然防止について、学校現場においては、先生たちがしっかり研修を受けるということを繰り返す、といったことをやってもいいのではないか。やり方はオンラインやオンデマンドでも可。	施策1-1の取組方針において、教職員への研修の充実について記載しました。
	子育てに悩んでいる親が増えてきた。情報過多で、過度な不安を抱えていて、仕事にも影響が出ている。親の安心という視点も必要ではないか。	施策1-3にご指摘のあった課題認識や施策の取組方針を記載しました。
	これ以上にどうやって安心安全を作り出せるか、と考えると、子どもたちの満足度を高める必要があると思う。わかる授業とか、温かい学級づくりとか。心の面で学校で取り組むものを入れてほしい。	新たに施策1-4として「互いを理解し思いやる心を育む教育の推進」を追加しました。
基本方針2	「国際的視点に立った教育」がトップというよりは、「自分づくり」と連動することで、教育の成果が上がると思う。	次期構想期間中の全校実施に向けて重点的に取り組む施策であり、並び順は変更しておりませんが、「国際的視点に立った教育」と「仙台自分づくり教育」との連動の重要性について記載しました。
	(施策2-6)中高の連携の必要性も感じている。全員が市立高校へ行くわけではないが、課題を抱える生徒もいる中で、引継ぎは課題だと思う。	施策2-6の取組方針で高等学校等進学時の引継ぎの在り方検討について記載しました。
	(施策2-7)高校は中学生に選ばれて成り立つので、どうやって選んでもらうか、というのは大きな課題。特色ある高校づくりとして、ソフト面の個性化は図っている。生徒や保護者が何を重視して高校を選んでいるのか。中長期的スパンで市立高校の在り方も考えていかないといけない。	施策2-7の取組方針で、学校に期待される社会的役割等を踏まえたより一層の魅力と特色のある教育活動の実現について記載しました。
基本方針4	生涯学習について、インクルーシブな生涯学習をどうやって作っていくか、という方向性も入るとありがたい。	施策4-3の取組方針で障害者の生涯学習について記載しました。
基本方針5	教職員のウェルビーイングと働き方改革を重要課題と捉え、具体的な支援策を示し、教職員が意欲的に教育活動に取り組める環境を整備することが、構想全体の実効性を高める上で不可欠。	ご指摘の趣旨を基本方針5の説明文に記載したほか、具体の支援策について施策5-1の取組方針に記載しました。
	体育館空調整備について、先日の津波警報の際、暑さへの対応ができていなかった。避難所になるところの空調は重要なので、拡充してほしい。	施策5-9の取組方針で体育館空調整備について記載しました。